

建設現場における遠隔臨場の試行について

◆目的

ウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うことで、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指す。

◆対象工事

建設交通部発注の工事で、段階確認・材料確認又は、立会を映像確認できる工種を有し、本試行を実施可能な通信環境を確保できる現場。

